

事務事業チェックシート

事務事業No 353 事業名 妊産婦支援事業（妊婦教室）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		母子衛生費	
	大事業		母子衛生事業	
事項		妊産婦支援事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	2	母子保健対策の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	Ⅲ	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
政策	2	妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
施策	ア	子育て世代包括支援システムの構築

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	川口隆弘 (488-5119)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
妊婦およびその家族が、妊娠・出産・育児について学び、健康で安心して新しい生命の誕生を迎えられることを目指す。	広報「市報わかやま」への掲載や初産婦への個人通知にて周知を図り、2回1クールとして、保健師・栄養士・歯科衛生士が教室を各保健センターで実施する。妊娠中の食生活や歯の衛生、その他日常生活等について、講話やグループワークを通して知識を学ぶ。また、妊婦同士や出産後の母子との交流の場を提供する。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	第1回目 妊娠・出産・育児について講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。 妊婦同士の交流会。 第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。 *初産婦への通知 1,411人 ①実施回数 48回 ②延参加者 340人	第1回目 妊娠・出産・育児について講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。 妊婦同士の交流会。 第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。 *初産婦への通知 1,393人 ①実施回数 48回 ②延参加者 339人	第1回目 妊娠・出産・育児について講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。 妊婦同士の交流会。 第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。 *初産婦への通知 1,450人 ①実施回数 48回 ②延参加者 331人	第1回目 妊娠・出産・育児について講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。 妊婦同士の交流会。 第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。	第1回目 妊娠・出産・育児について講話。母子健康手帳、各種制度や保健サービスについての説明。 妊婦同士の交流会。 第2回目 食生活、歯の衛生についての講話。先輩ママとの交流会。

2 事業コスト

事業費等 千円	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	104	98	102	156	102	96	102		102
	伸び率 (%)	-	-	-1.9%		0.0%		0.0%		0.0%
	人件費	常勤職員	8,170	8,170	7,231	7,231	7,163	7,003		7,003
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0		0
		小計	8,170	8,170	7,231	7,231	7,163	7,003		7,003
	国庫支出金									
	県支出金									
	市債									
その他										
一般財源(税等)	104	98	102	156	102	96	102		102	
所要人数	常勤職員	1.08	1.08	0.97	0.97	0.94	0.94		0.94	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0		0	
主な予算内訳	消耗品費102千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	妊婦教室実施回数				年度目標値	48	48	48	48	
					実績値	48	48	48		
	単位	回	全体目標値	48	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
	実参加者数				年度目標値	300	300	300	300	
					実績値	215	208	203		
単位	人	全体目標値	300	全体目標達成度	67.7%	年度別達成度	71.7%	69.3%	67.7%	
成果指標	健康管理に役立つ割合				年度目標値	100	100	100	100	
	不安軽減割合				実績値	97.1	99.2	100		
					年度別達成度	97.1%	99.2%	100.0%		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	97.1%	99.2%	100.0%
	不安軽減割合				年度目標値	100	100	100	100	
					実績値	89.2	97.6	95.5		
単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	95.5%	年度別達成度	89.2%	97.6%	95.5%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>教室参加後のアンケート等から、妊娠中の生活についての知識や参加者同士の交流を望む声が多く聞かれた。交流会には、保健師が積極的に介入し、参加者の交流が円滑に進むように努めている。アンケート結果から参加者のニーズに沿った事業展開ができ、参加者の満足度も高い。</p>
「見直し」「改善」案	<p>参加者からは拡大を望む声が多く、アンケート結果から参加者の満足度は高い。</p>